

SMS(ショート・メッセージ・サービス) 送信システムとは

SMSは携帯番号同士で電話番号を宛先にしてメッセージをやりとりするサービスです。

弊社が保有するSMS（ショート・メッセージ・サービス）送信システムは、文言を自由に変更することが可能なため、お電話しても繋がらない、未接触者に対する送信のみならず、「口座振替不能者」「分納不履行者」に対するご案内等、様々な活用方法を検討しており、実績もございます。

送信後の反応・結果

【中核市事例】

(現年度収納率99.4%)

対象条件

- ・市税未納者、59歳以下
- ・督促期限1か月経過
- ・年度内累計3コール以上で未反応

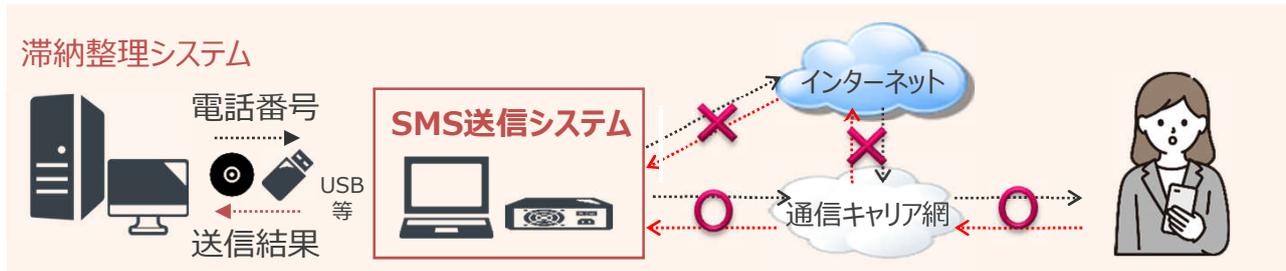
| 送信件数 | 反応件数 | 反応率 |
|--------|--------|--------------|
| 5,686件 | 1,770件 | 31.1% |

収納金額

42,536,247円

高いセキュリティ性

弊社のSMS送信システムは、完全オンプレミス型であり、携帯電話番号はインターネットを経由せず、直接通信キャリア網と送受信が可能となっておりますのでセキュアな環境下で運用が可能です。【特許取得】

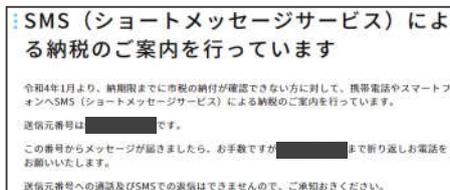


機器は個人情報保護を念頭に、インターネットを経由しないオンプレミス型にて運用いたします。

SMS送信における周知について

SMSの送信にあたっては、事前に自治体様のホームページや広報誌等にて周知をお願いしております。

送信される電話番号をインターネット検索でHITするように公開していただき、詐欺と間違われぬ運用を実施していただくことで、現在に至るまで、「詐欺だ」といったクレームは一切発生しておりません。



効果を高める策

SMSの活用で期待する主な効果は、折り返し電話を呼び込むことにありますが、その効果を最大限とするため重要なのが、送信のタイミングです。過去の送信実績から、以下に留意して実施いたします。

| | | |
|----|---------|---|
| 01 | 送信日時の考慮 | SMSの折り返しの70%以上は送信当日に入電していることから、 <u>送信当日の入電期待値が最も高く、日数を経過すればするほど下がります。</u> そのため午前中に送信する運用といたします。 |
| 02 | 受電体制の構築 | 最も入電が重なりうるタイミングは送信直後です。そのため送信件数をコントロールし、 <u>放棄呼（オペレータに繋がる前にかけた人による切断）をなくす受電体制を整えます。</u> |